

Z217r 中性子星磁気圏のリモートセンシング

寺澤敏夫（東京大学宇宙線研究所）

本特別セッション参加メンバーに共通した興味の対象として、地球などの惑星、そして彗星、太陽、恒星、原始星、... 中性子星、ブラックホール（+ 銀河、銀河団も？）に至る磁気圏現象があると考えられる。過去四半世紀の磁気圏物理学の大きな進展は磁気リコネクションと無衝突衝撃波の解明が進んだことであろう。いずれのテーマも、地球、太陽などを舞台とした *in situ* 観測もしくは高分解の時間・空間構造観測を基にして素過程の理解が深まった後、遠くの天体への応用が飛躍的に進んだものである。QED 的超強磁場、相対論的星風といった極端な物理条件により特徴付けられる中性子星磁気圏の研究にも、地球・太陽磁気圏において得られた知識が基礎となっていることは勿論である。この講演では、中性子星磁気圏、特にパルサー磁気圏の電波によるリモートセンシング研究の現状を紹介したい。